

作成日：西暦 2026 年 06 月 15 日

## 研究に協力していただける方を募集しています

**研究課題名：**食事の一口量から個人の食事時間、咀嚼回数を予測するための前向き観察研究

### 1. 研究の対象

藤田医科大学で働く 20-60 歳の教職員及び大学生、大学院生

### 2. 研究目的・方法・研究期間

ポッキーをほおばる大きさで食事時間、咀嚼回数が推定できるかを調べます。

### 3. 研究方法

#### 1) 一口長（スティック状菓子を一口で食べた際の長さ）の測定

スティック状菓子（ポッキー）を一口食べて皿に置く。食べた長さの測定（定規で測る）、食事時間（ストップウォッチで測定）、咀嚼回数及び咀嚼テンポ（シャープの咀嚼計 bite scan を使用）を測定します。

#### 2) スティック状菓子の食事時間の測定

テスト食を数個（例：ポッキー3本）食べる。食事時間（食事のみ動画撮影もしくはストップウォッチで測定）、咀嚼回数及び咀嚼テンポと一口回数（シャープの咀嚼計 bite scan を使用）を測定します。

#### 3) 冷凍ピザの食事時間の測定

コントロール食（冷凍ピザ）を用いて、食事時間（食事のみ動画撮影もしくはストップウォッチで測定）、咀嚼回数及び咀嚼テンポと一口回数を測定します。

**この研究に参加することで、あなたの経済的負担が増えることはありません。また、この研究に参加されることに対して、終了時に 500 円分の QUO カードをお渡しします。**

期間：倫理審査委員会承認日～2028 年 3 月 31 日

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、身長、体重、BMI、BDHQ 質問票、テスト食の食事摂取時間、咀嚼回数の測定、食事時間、一口回数、咀嚼テンポ、一口でほおばるポッキーの長さ

**外部への試料・情報の提供はありません。**

### 4. 研究組織

本学の研究責任者：藤田医科大学 医学部 臨床栄養学講座

教授 飯塚 勝美

相談窓口：臨床栄養学講座 教授 飯塚勝美、大学院生 出口香奈子

メール：[katsumi.iizuka@fujita-hu.ac.jp](mailto:katsumi.iizuka@fujita-hu.ac.jp)、[kanasakuran@gmail.com](mailto:kanasakuran@gmail.com)

電話：0562-93-2329 もしくは 9975

この研究は、日本病態栄養学会 2025 年度日本病態栄養学会若手研究助成を受けています。また、この研究に関連する企業と研究者等との間に、開示すべき利益相反はありません。